

明けまして
おめでと〜うございませう

平成二十八年が始まりました。本年もよろしくお願いいたします。

今年度の呉市教育委員会のキーワードは「協働」です。警固屋学園では、地域や家庭と連携して活動を行い、関わりあうことで子どもたちを育てていますので、まさに「協働」ができている地域だと確信しています。

さらに、警固屋学園では、「響DO(きょうどう)」というキーワードを重ね、「ことば」や「いのち」や「学び」が「響き合う」ことで、「自分を創る」という学園目標を達成しようとしています。「DO」は、「行動」でもあります。

「ことば」を大切な土台として、いつも自分の思いや考えを持ち、相手に伝えることを意識させて授業や生活をしています。ことばでお互いが響き合えば、命を大切にしたい、学びも深まっていくと考えています。

地域で豊かな体験活動をさせていただいたり、授業改善を進めたりすることで、子

どもたちは、確実に向上しています。児童のアンケートでも、自分の思いを表現したり、自分の考えと比較しながら聞いたりしているという子どもが、一学期よりも増えています。大きな成果です。

さらに、子どもたちが、自信を持って行動できるようになれば、「自分には良いところがある。」「まわりから認められている。」と思う子どもが増えると思います。

そうすれば、挨拶や返事が、「いつでも」「どこでも」「だれにでも」もつと大きな声でできるようになると考えています。

子どもに自信を持たせられるよう学校でも働きかけていきますので、どうぞ地域や家庭でも、良いところを認めることばがけのご協力をよろしくお願いいたします。

警固屋小学校長 岡本 尚子

学校茶道がありました

警固屋学園では、学校茶道を行っています。十一月から二月にかけて、三年生から九年生は総合的な学習の時間に、一・二年生は生活科の時間に行います。

学校茶道は、茶道(道具や歴史など)について知り、礼儀作法を身につけ、茶道に親しむことをねらいとして、一年生から九年生まで、毎年計画的に行っています。裏千家の院去艶子先生に教えていただいています。

導入段階の一年生から各学年に応じて、す

わり方、立ち方、お辞儀のしかた、戸の開け方などの姿勢やふくさの使い方やお茶の点て方、頂き方を学習します。中学校での「さくら祭り」のお茶会へとつながっています。大変有意義な時間となりました。

茶道を通して、日本の伝統文化や日本人の心を学んでほしいと思います。三学期も行います。



日本人の感性にせまる俳句の世界へ (中学校教員による乗り入れ授業)

十二月に、小学校六年生国語科の「乗り入れ授業」を行いました。単元は「句会を開こう」で、冬の季語を使った俳句作りに取り組みました。比喩を使ったり言葉言い換えたりするなど表現を工夫して、自分の気持ちや冬の情景を、五・七・五の十七音にまとめました。

六年生の子どもたちは、この「乗り入れ授業」を楽しみにしていました。中学校校舎で、いつもとは違う雰囲気の中で意欲的に学習に取り組みことができました。

「乗り入れ授業」を通して、中学校の先生には、これから中学校に入学する子どもたちの様子を知ってもらうことができました。

また、子どもたちは、中学校の先生の授業に慣れるよい機会になりました。

六年生の作品

空見あげ 光のパレード クリスマス

おおみぞか カウントダウン のがす俺

寒空に 新年祝う 朝日かな

取り合いだ すくになくなる もうの山

朝が来て 白い布面で 寝る草木



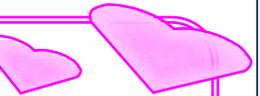
俳句の表現の工夫のしかたを学習しているところです。

六年生 部活体験

十二月十日(木)に、二回目の部活体験がありました。生憎の雨天で、グラウンドで活動する部の部活体験ができませんでしたが、体育館では、熱心に活動する姿が見られました。中学生が優しく親切に接してくれるので、六年生は、この部活体験をとっても楽しみにしています。あと三回実施予定です。中学校進学に向けて貴重な機会となっています。



ホッと・ハート・メモ



一月の冬休み中の朝のことです。警固屋中学校横の細い道で方向を変えようとしていた軽トラが、道路の溝にはまり、動けなくなっていました。

そこにちょうど部活動をしていた野球部と陸上部がかかけつけ、力を合わせてその軽トラを動かしたので、軽トラは、無事に救出されたのでした。

困っている方に力を貸すためにさっと動く中学生たち…さわやかな気持ちになる出来事でした。



《編集後記》

暖冬で、年末年始は過ごしやすかったですね。また、天候に恵まれたので、初日の出を見られた方も多いのではないしょうか。今年がよい年になればいいです。

ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。